

新年のごあいさつ



日本商工会議所
会頭 三村 明夫



福井商工会議所
会頭 川田 達男

新年明けましておめでとうございます。

2018年の本県経済は、豪雪の影響で生産や消費関連で一時的に落ち込んだものの回復基調が続く、全般的に堅調な一年でした。秋に開催された福井国体・障がい者スポーツ大会は、史上初の国体と障スポの融合、天皇杯・皇后杯の獲得、大雨の開会式での全力の演技など、記憶と記録に残る感動的な国体・障スポ大会でした。国体にご支援・ご協力いただいた会員企業の皆様に御礼申し上げます。

2019年の福井商工会議所は、「中小・小規模企業支援の強化」「地域振興・活性化の推進」「組織の活性化」の3つの重点方針のもと、経済環境や地域動向を踏まえた事業を展開し、地域の企業と経済の発展のため、引き続き取り組んでまいります。

深刻さを増す県内企業の人手不足に対し、

平成31年の新春を迎え、謹んでお喜び申し上げます。

わが国の国内情勢は、依然として個人消費に力強さを欠くものの、経済が引き続き緩やかな拡大傾向を続けています。今こそ、人手不足・少子高齢化・低い生産性・地方の疲弊など、わが国の構造的課題の解決に向け、サプライサイドの経済政策を推し進めるとともに、社会保障の持続可能性の向上と財政健全化にも取り組むべきであります。

「中小企業に日本の課題が最も早く押し寄せる故に、中小企業の課題を解決することが日本経済の成長に直結するものだ」との信念の下、本年、商工会議所が取り組むべきものとして、以下の課題に重点的に取り組んでまいります。

1点目は、「人手不足への対応と生産性向

県・労働局等と協力し、人材確保の支援強化に取り組めます。特に、関心が高まる外国人材活用について、採用や就労に関するノウハウ提供等を行ってまいります。また、人手不足対策にも繋がる生産性の向上に向けて、ITやIoT等の活用や実用化の支援について事例勉強会や展示会視察、国の施策活用など重層的に進めていきます。さらに、今秋の消費税率の引上げに対しては、消費喚起のためのキャッシュレス化や販売促進、軽減税率の実務対応、適正な価格転嫁などの支援に取り組むほか、頻発する自然災害に備えるため、県内企業のBCP（事業継続計画）策定を推進してまいります。

地域経済の活性化には、交流人口の拡大が重要です。4年半後に迫る北陸新幹線の福井延伸は、千載一遇のチャンスです。新幹線延

上」に向けた取り組みです。人手不足が中小企業の最大の経営課題となっている今、働き方改革の推進や、IT・IoT、ロボット、AIなど革新的技術の活用を通じて生産性の向上を図っていく必要があります。経営者の「気づき」を促し、身の丈に合った形でIT・IoTやAIを身近な経営改善に活用いただけるよう、支援事業を積極的に展開してまいります。

2点目は、「中小企業の活力強化と地方創生」への取り組みです。地域において中核となる企業の存続と新たな創業は極めて重要な課題であり、引き続き円滑な事業承継、創業支援に取り組んでまいります。また、農商工連携、地域資源を活用した観光振興、中小企業の海外展開など、域外需要の獲得と真の地方創生に向けてさらに取り組みを強化してま

伸を見据え当所が策定した地元対策プランのもとに、観光振興やまちづくりなどの地域基盤づくりに引き続き取り組んでまいります。特に、商工会議所の要望で実現した県の「おもてなし産業魅力向上支援補助金」の活用を通して、新幹線開業を見据えた店舗改装や土産品開発など、観光客受入れ態勢の整備・強化を応援いたします。

商工会議所の使命や役割を果たすには、強い組織力と行動力が欠かせません。組織の維持拡大、進取の精神を発揮した事業活動に取り組み、地元企業ならびに地域から必要とされ、期待に応える商工会議所を目指して邁進してまいります。

結びに、本年が会員企業の皆様にとりまして幸多き一年となりますようご祈念申し上げます。

いたします。

3点目は、2019年10月1日に予定されている「消費税率引き上げ」への対応です。消費税率引き上げ前後の需要変動に対する平準化対策に関しては、取引価格への円滑な価格転嫁が大前提であり、中小事業者への十分な配慮と支援が必要です。国との連携を密にし、広報活動や事業者からの相談などに取り組み、事業者の円滑な対応を支援してまいります。

最後に、今春には天皇陛下がご譲位され、「平成」が終わり新しい時代の幕開けとなります。日本商工会議所は「未来を拓く商工会議所」として、前述の課題解決に尽力するとともに、企業、地域、ひいては日本経済の持続的成長の実現に向けて全力で取り組んでまいります。